# 「デジタル田園都市国家構想」の実現をはじめとした地方活性化① 【参え

### 1. インフラ分野のDX

- これまでのi-Constructionの取組を中核に、インフラ分野のDXを推進するため、建設機械施工の自動化・自律化や、国土交通データプラットフォームの構築等に取り組む。また、防災・減災分野に新技術を活用し、対策の高度化・迅速化を図る。
  - <建設分野のDXの推進>
  - ■建設機械施工の自動化・自律化



建設機械施工の自動化・自律化により現場の省人化を実現

■国土交通データプラットフォームによるデータ連携



インフラ管理の高度化のほか、データを活用した研究開発や技術開発を促進

<防災・減災対策の高度化・迅速化>

■リアルタイムに浸水状況を把握できる 浸水センサの整備





< センサによる浸水域の把握イメージ>

民間企業等と連携し、流域内の様々な施設に浸水センサを設置、情報を共有し、浸水域をリアルタイムに把握

■まちづくりや住まい方の工夫等に活用できる 水害リスクマップの整備



浸水頻度ごとの浸水範囲を示した新たな「水害リスクマップ」を整備し、水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等を促進

#### ■道路システムのDX~xROADの実現~



CCTVカメラを用いた交通障害検知システムを導入



道路橋のデータベースを構築し、 画像認識AIで健全性診断を支援

■リモートセンシング技術を活用した 港湾の被災状況把握の高度化



ドローンや衛星画像等を活用し、警報発令下における被災状況把握が可能な体制を構築

# 「デジタル田園都市国家構想」の実現をはじめとした地方活性化②

# 2. 交通·物流分野のDX

デジタル技術で交通・物流を効率化し、地方の生活利便性向上に貢献するた め、地域交通のリ・デザイン、自動運転の実現、物流DXの推進等に取り組む。

#### <地域交通のリ・デザイン>

■最新技術を活用した交通の「リ・デザイン」





【トヨタMaaSアプリ「my route」】 複数の交通機関や、観光や買い 物を連携し、一括でサービス提供

【自動運転車両·気仙沼線BRT】

自動化・電動化された輸送 システムの導入を促進

■「共創」による地域交通の「リ・デザイン」







【他分野との「共創」イメージ】

最新のデジタル技術等の実装を進めつつ、(1)官と民で、(2)交通事業 者相互間で、③他分野とも、「共創」を推進し、地域交通を持続可 能な形で「リ・デザイン」

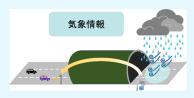
### <自動運転の環境整備>

■自動運転による地域課題への対応



まちなかでの走行空間のあり方等について検証

■官民による共同研究



車両センサでは収集が困難な前方の道路状況 の提供手法等について官民共同研究を推進

#### <物流DXの推進>

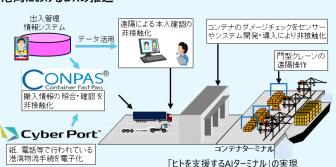
■ドローン物流



■庫内作業の自動化・ 機械化



# ■港湾におけるDXの推進



機械化・デジタル化を通じて、既存のオペレーション改善・働き方改革を実現し、 物流のごれまでのあり方を変革する

# 3. デジタルを活用したポストコロナの地方都市づくり

リモートワークや大都市の企業等とデジタル接続したイノベーション拠点形成、空 き家等の既存ストックを活用した住環境・生活環境の充実により、コロナ禍で萌 芽がみえた**都会から地方への人の流れを発展**させ、地方都市等を活性化させる。

#### 【農村集落等】



【中心市街地·駅前等】







都市間の連携による

成長と分配の好循環

【ニュータウン等】



<子育て施設の整備等>



【地域公共交通の充実】

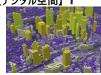
<イノベーション拠点・ テレワーク拠点の整備>



<コンパクトで「居心地が良く歩きた くなる | まちなかづくり>



【デジタル空間】



<デジタルデータ技術による、地域の姿のデザイン や都市施設運営等(3D都市モデル)>

他省庁のデジタル施策や移住促進施策 との連携も推進

※ デジタルの活用により、地方でも利便性が高く安心して暮らし続けられる国土づくりを目指すため、新たな国土形成計画の検討 を進める(本年6月に中間とりまとめ予定)。